

## テックマヒンドラ社と連携し、5G 等を利用したインフラ等管理システムの 研究開発と提案活動推進に合意

自動車や弱電機器などの日本の基幹産業分野に高品質なボルトやネジの製造販売を行ってきた株式会社ヤマシナ(京都市山科区東野狐藪町 16 番地、代表取締役 堀 直樹、以下「ヤマシナ」)は、情報、通信、テクノロジー分野におけるデジタルソリューションサービスを展開する Tech Mahindra Limited (Gateway Building, Apollo Bunder, Mumbai - 400001, India、マネージングディレクター兼最高経営責任者(GEO) CP Gurnani、以下「テックマヒンドラ」)と連携し、インフラなどを管理するシステムの研究開発と提案を行うことに合意しましたのでお知らせします。

人工知能やビッグデータの活用はもはや一般的となる中、大容量通信が可能である 5G によりこれらデータのより効率的利用のニーズが高まっています。公共インフラや工場においては、これらの技術を利用することで、生産性の改善や、品質の向上など、様々なメリットが見込まれます。また、建築や自動車などの産業領域ではこれらを利用することで、効率性や安全性が高まり社会全体の生産性向上に寄与いたします。

本連携はこれらのニーズを満たし実現するための部品開発、システム開発と提案を推進することを目的としております。テックマヒンドラの持つ 5G などのネットワーク技術、IT システムの構築やセンサーなどの開発力とヤマシナの持つ部品開発力を融合させ、クルマやインフラ、工場等に提案できる、部品も含めた革新的な管理システムを研究開発してまいります。

### ■テックマヒンドラ(Tech Mahindra)について

「Connected World」という理念に基づき革新的かつ顧客中心の IT ソリューションを提供するインドの企業です。同社は、年間売上高 52 億米ドル、約 90 か国から集まった従業員 12 万人以上を擁し、フォーチュン 500 に選出された企業を含む約 1,000 社のグローバル企業を支援しています。また、同社は 100 か国に 20 万人以上の従業員を擁するマヒンドラグループの一員です。マヒンドラグループは、自動車や IT など 18 の産業分野で事業展開をしている多国籍企業グループです。(テックマヒンドラウェブサイト <https://www.techmahindra.co.jp/pages/default.aspx>)

■株式会社ヤマシナについて

東京証券取引所 2 部上場（コード番号 5955）

1917 年設立のネジ・ボルトなど小型金属製品メーカーです。設立直後から高度経済成長、モータリゼーションをへて現在まで、わが国の産業に高品質の製品を安定的に供給してきました。

現在は、QCD はもちろん、「産業の不可能を可能に変える要素技術で、世界をリードする。」をスローガンに、電食を回避する世界初の CFRP 用ナット「アルアーマナット」など、クルマの軽量化や総コスト低減に寄与する先端締結技術の開発に取り組んでいます。

（株式会社ヤマシナ ウェブサイト <https://www.kk-yamashina.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヤマシナ

電話 :075-591-2131

以下、ホームページのお問い合わせフォームから

<https://www.kk-yamashina.co.jp/contact/index.html>

以上